



ペトロブラス社ブラジル Iracema North 鉱区向け FPSO 受注内定

2012年11月13日

三井海洋開発株式会社（社長：宮崎俊郎）と Schahin グループ（ブラジルでの現地パートナー）は、ブラジルの国営石油会社である Petróleo Brasileiro S.A.（以下「ペトロブラス社」）より、同社 65% 子会社の Tupi B.V. 社を通じて、FPSO（Floating Production, Storage & Offloading System：浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備）1 基の建造及びチャーター契約の発注内示書を受領しました。

本プロジェクトは中古 VLCC タンカーを FPSO に改造するもので、FPSO Cidade de ITAGUAÍ MV26 と命名される FPSO は、ペトロブラス社（65%）、BG グループ（25%）、Petrogal Brazil S.A. - Galp Energia（7%）、China Petrochemical Corporation（3%）の 4 社コンソーシアムが保有する BM-S-11 ブロックにある Iracema North（イラセマ・ノース）鉱区の開発に用いられます。

リオデジャネイロ沖合南約 300km に位置する Iracema North 鉱区は、海底下約 5,000m のプレソルト層（岩塩層）の下にある巨大油田です。2008 年、2010 年、2011 年に受注したペトロブラス社 Lula（旧 Tupi）鉱区向け FPSO Cidade de Angra dos Reis MV22、Guara 鉱区向け FPSO Cidade de São Paulo MV23 及び Cernambi South 鉱区向け FPSO Cidade de Mangaratiba MV24 に続き、プレソルト層下にある油田の開発用としては 4 基目の FPSO 受注となります。

改造後の FPSO は日量 15 万バレルの原油生産能力、日量 280 百万立方フィートのガス生産能力、約 160 万バレルの原油貯蔵能力を持ち、三井海洋開発株式会社の子会社の SOFEC 社が設計する Spread Mooring（スプレッド・ムアリング）と呼ばれる係留方法で、水深約 2,240m の海上に係留されます。本 FPSO は 2015 年第 4 四半期に現地に到着する予定です。

本 FPSO は完成後に当社の関連会社が保有し、ペトロブラス社に対し 20 年のチャーターサービス（リース及び運転・保守点検等のオペレーション）の提供を行います。

尚、当社は今後ともブラジルにおけるオフショア油田開発プロジェクトの参画に注力し、ローカルコンテンツ向上要請への対応を通じて本件共同応札者である Schahin グループと共にブラジルにおける重工業の発展に寄与いたします。

問い合わせ先

三井海洋開発株式会社 総務部 山下（電話 03-5290-1200）